

アジアこども会議



- 日時 2005年7月28日(木) 15:15~17:15
- 会場 朱鷺メッセ国際会議室
- 後援 外務省、文部科学省、環境省、東京都、新潟県、新潟県教育庁、新潟市、新潟市教育委員会、長岡市、長岡市教育委員会、長岡商工会議所、亀田郷土地改良区、亀田商工会議所、独立行政法人国際協力機構、朝日学生新聞社、NHK、フジテレビ、テレビ朝日、新潟日報
- 助成 財団法人長岡育英会 地球環境基金
- 協力 全日空
- 会議参加者 コンクール受賞者
- イベントの内容 受賞者及、その発表を「こどもアジェンダ21宣言」としてまとめ、環境省総合環境政策局環境教育推進室長(環境大臣代理)に提出する。
- 会議のテーマ 『「楽しく住むってどんなこと?」「家庭で」「地域で」「地球で!』
- 司会進行 NPO 法人まちづくり学校 校長 小疇弘一

プログラム

高円宮妃殿下ご入場
主催者代表挨拶<地球こどもクラブ副会長 江口雄次郎>
第12回アジアこども会議
こどもアジェンダ21宣言書とりまとめ・環境省 環境教育推進室長へ提出
高円宮妃殿下ご退席

アジアこども会議内容

■ 会議テーマ 「楽しく住むってどんなこと？」 「家庭で」 「地域で」 「地球で」

今回のアジアこども会議は、グループごとに環普段行っている取組やアイデアを話し合ってもらった。そして、その意見を全て模造紙に書き、最後にグループの代表者がそれを発表した。



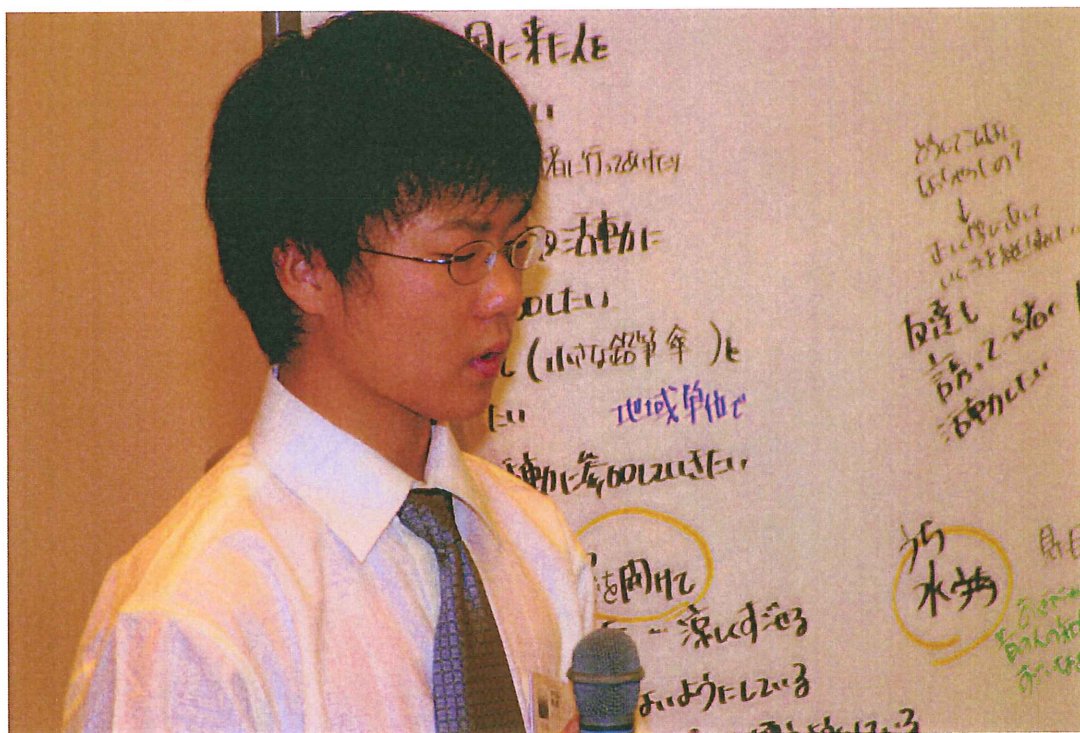
タイ パパック・スジンダ (小学校6年生)

タイでは、津波の影響で畑を耕す土地や職を失った人が大勢いて、環境問題を考える余裕のない人達が大勢います。自然を大切にすることは重要な事ですが、時にはその自然が人間の生活や命を奪ってしまうということも忘れてはいけない事だと思います。日本では、水は何時でも使え、食べ物も食べたい時に食べられる素晴らしい国だと思いますが、それが当たり前でない国が数多くあることを知っておかなければならないと思います。



日本 岡部 憲和 (中学2年生)

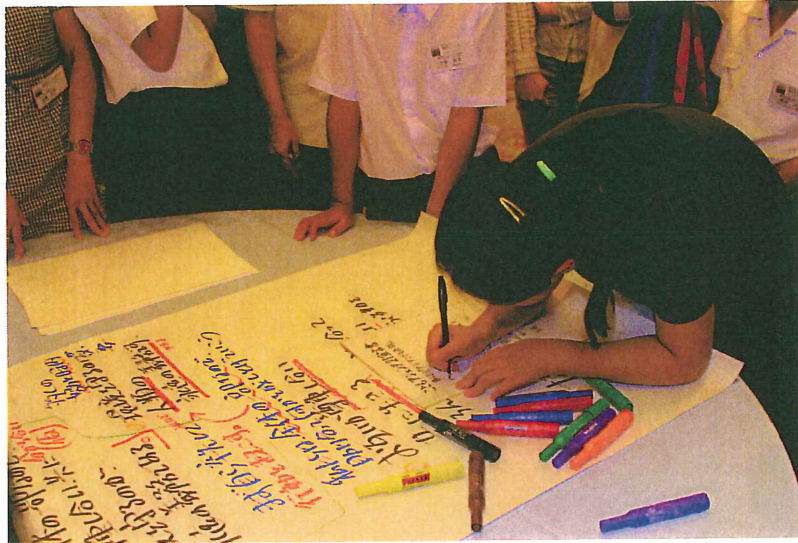
東京のある地域では打ち水をして、気温を下げようというイベントを開催しましたが、その日の東京の気温は34度あり、打ち水をして2度下がったらしいのですが、たった2度下がっても気温は32度もあるわけで、その効果でクーラーやその地域全体が涼しくなるわけでもないし、余り効果が無いのに大量の水を撒くことで、大切な水を大量に消費してしまう事に疑問を持ちます。どうせ実行するのなら、例えば昼間1時間だけクーラーを消して自然の風を利用して涼む方法を考えると、実行して意味のある事をした方がいいと思います。



中国 リュウ・ケンキョウ (中学2年生)

中国では、砂漠化問題が深刻化しています。砂漠化するスピードが大変早いので、植林をしてもなかなか追いつけません。そのためにも、原因ともなっている地球温暖化を世界の人々と協力して少しでも歯止めがかかるよう心がけていきたいです。それと、日本で行っている打ち水のような、昔の人の知恵を借りるという方法も大切だと思いました。

こどもアジェンダ 21 宣言まとめ&署名



会議で発表された各国のそれぞれの環境問題は、世界に共通する問題であり、まずは自ら行動して生きている限り環境を守っていくことの決意を込めて今年の「こどもアジェンダ21宣言書」が完成いたしました。

こどもアジェンダ 21 宣言書

私たちは、全体の一部なので、お互いが尊重し合い共に分かち合い環境を守るのが永遠の義務である。

まずは自ら率先して行動を起こす。



各国1人ずつ並び、代表して日本の岡部憲和君が、渋谷晃太郎環境省総合環境政策局 環境教育推進室長に手渡しました。